

ス イ ス

Swiss Confederation

	2013年	2014年	2015年
①人口：833万人（2015年末暫定）			
②面積：4万1,285km ²			
③1人あたりGDP：8万675米ドル (2015年)			
④実質GDP成長率（%）	1.8	1.9	0.9
⑤消費者物価上昇率（%）	△0.2	0.0	△1.1
⑥失業率（%）	3.2	3.2	3.3
⑦貿易収支（100万スイス・フラン）	23,571	29,753	36,527
⑧経常収支（100万スイス・フラン）	70,776	56,714	72,970
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	495,958	505,463	566,960
⑩対外債務残高（グロス） （100万スイス・フラン）	1,476,009	1,579,859	1,673,993
⑪為替レート（1米ドルにつき、 スイス・フラン、期中平均）	0.9269	0.9151	0.9624

〔注〕⑦：通関ベース
〔出所〕①②⑤：スイス連邦統計局、③⑨⑪：IMF、④⑥：スイス連邦経済省経済事務局、⑦⑧⑩：スイス国立銀行

2015年におけるスイスの実質GDP成長率は前年に比べ低水準にとどまった。スイス・フラン高の影響を受けた輸出産業を中心に振るわなかった。輸出入ともに減少となったが、輸入金額の減少幅が輸出金額のそれを上回ったため、貿易黒字は過去最高を記録した。対日貿易黒字は前年より増加した。

■ 経済成長は前年を大きく下回る

2015年のスイス経済の実質GDP成長率は0.9%となり、過去2年の成長率（1.8%、1.9%）と比べ大きく減速した。民間最終消費支出と政府最終消費支出がそれぞれ1.0%、2.4%と伸び、プラス成長になった一方、通貨スイス・フランの対ユーロ高の継続や新興国の景気減速により、輸出産業を中心に低迷した。第4四半期にはGDP成長率が0.4%と、2015年1月にスイス国立銀行が2011年9月以来実施してきた1ユーロ＝1.20スイスフラン（以下CHF）を上限とする無期限介入策を中止して以降では最大の伸びをみせ、一定の耐性を示したが、主要貿易相手であるEU圏の景気回復にまだ時間を要するとみられることから、輸出の回復は緩やかに進むと予測される。連邦経済省経済事務局（SECO）は2016年6月16日の発表で、2016年の成長率を1.4%、2017年を1.8%と予測している。

失業率は2015年半ば以降緩やかに悪化し、3.3%を記

表1 スイスの需要項目別実質GDP成長率

	2014年	2015年					2016年 Q1
		Q1	Q2	Q3	Q4		
実質GDP成長率	1.9	0.9	△0.4	0.3	△0.1	0.4	0.1
民間最終消費支出	1.3	1.0	0.1	0.3	0.4	0.1	0.7
政府最終消費支出	1.3	2.4	△0.4	0.5	0.4	1.2	△0.8
国内総資本形成	2.1	1.5	0.0	1.1	△0.3	△0.6	1.7
財貨・サービスの輸出	△6.9	3.2	△3.9	△2.7	5.8	3.2	△5.9
財貨・サービスの輸入	△8.1	2.5	1.5	△6.9	4.2	3.5	1.6

〔注〕①四半期の伸び率は前期比（季節調整値）。

②財貨の輸出入には非貨幣用金および貴重品を含まない。財貨の輸出には仲介貿易を含む。

〔出所〕スイス連邦経済省経済事務局

録。特に製造業では、スイス・フラン高の下、海外市場での製品シェア維持のための販売価格引き下げとマージン縮小の圧力が働き、国外での調達の強化、業務効率化、労働時間延長、リストラ、生産拠点移転などが行われており、失業率の減少には厳しい状況である。

■ 通貨高により輸出は不振、輸入金額も減少

2015年の輸出（通関ベース）が前年比2.6%減の2,029億1,900万CHF、輸入は同6.8%減の1,663億9,200万CHFだった。輸入金額の減少幅が輸出金額のそれを上回り、貿易黒字は365億2,700万CHFと過去最高を記録した。

輸出はここ数年の増加傾向から一転、通貨高や新興国の景気停滞の影響を受け、宝飾品を除き全体的に苦戦した。輸出額減少分の約4割を占めたのは機械および電気・電子機器（構成比15.3%）で、前年比6.9%減と落ち込んだほか、金属製品（5.8%）は5.5%減、食品・飲料・たばこ（4.0%）は3.2%減、精密機械（7.1%）は1.7%減であった。時計（10.6%）は最大の輸出先である香港向けが22.9%と大きく減ったことにより、前年比3.2%減と6年ぶりに前年を下回った。スイス最大の輸出品目であり為替の影響を受けにくいとされる化学品（41.7%）の輸出は年間で見ると0.7%減だが、第4四半期は9.0%増と大きく伸びた。

輸出を国・地域別にみると、最大の輸出先であるEU28向け（構成比53.7%）は前年比4.4%減少したが、非ユーロ圏の英国向け（5.8%）は医薬品の輸出増により16.2%増と大きく伸びた。米国向け（13.5%）は6.0%

表2 スイスの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学品	85,323	84,685	41.7	△0.7	42,945	38,769	23.3	△9.7
医薬品	70,785	70,338	34.7	△0.6	30,543	27,789	16.7	△9.0
精密機械・時計・装身具	47,076	46,741	23.0	△0.7	20,072	20,916	12.6	4.2
時計	22,258	21,535	10.6	△3.2	3,752	3,847	2.3	2.5
精密機械	14,686	14,442	7.1	△1.7	7,274	7,105	4.3	△2.3
アクセサリー・装身具	10,133	10,764	5.3	6.2	9,046	9,964	6.0	10.2
機械および電気・電子機器	33,341	31,056	15.3	△6.9	30,347	28,481	17.1	△6.1
産業用機械	20,162	18,635	9.2	△7.6	12,010	10,903	6.6	△9.2
電気・電子機器	10,881	10,215	5.0	△6.1	10,829	10,499	6.3	△3.0
金属製品	12,481	11,794	5.8	△5.5	14,395	12,887	7.7	△10.5
農・林・水産業製品	9,415	9,032	4.5	△4.1	14,062	13,309	8.0	△5.4
食品・飲料・たばこ	8,391	8,125	4.0	△3.2	10,233	9,846	5.9	△3.8
輸送用機器	5,682	5,870	2.9	3.3	16,151	16,878	10.1	4.5
燃料・エネルギー	3,143	2,562	1.3	△18.5	11,991	8,448	5.1	△29.5
合計 (その他含む)	208,357	202,919	100.0	△2.6	178,605	166,392	100.0	△6.8

[注] 貴金属・宝石、芸術品、骨董品等の取引は含まない。

[出所] スイス連邦関税局 (2016年5月末発表数字)

表3 スイスの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU28	114,041	108,976	53.7	△4.4	130,614	120,511	72.4	△7.7
ユーロ圏	95,518	89,117	43.9	△6.7	116,047	106,108	63.8	△8.6
ドイツ	38,605	36,648	18.1	△5.1	51,267	47,021	28.3	△8.3
イタリア	13,765	12,812	6.3	△6.9	17,626	16,089	9.7	△8.7
フランス	14,984	13,895	6.8	△7.3	14,410	13,327	8.0	△7.5
非ユーロ圏	18,524	19,859	9.8	7.2	14,567	14,443	8.7	△0.9
英国	10,050	11,682	5.8	16.2	6,429	6,552	3.9	1.9
アジア大洋州	34,798	34,162	16.8	△1.8	24,521	24,404	14.7	△0.5
中国	8,814	8,954	4.4	1.6	12,148	12,346	7.4	1.6
ASEAN	6,591	6,744	3.3	2.3	4,297	4,648	2.8	8.2
香港	6,979	5,740	2.8	△17.7	1,775	1,366	0.8	△23.0
日本	6,191	6,371	3.1	2.9	3,251	3,085	1.9	△5.1
韓国	2,659	2,665	1.3	0.2	619	624	0.4	0.9
米国	25,878	27,439	13.5	6.0	10,911	11,667	7.0	6.9
ロシア	2,786	2,167	1.1	△22.2	588	324	0.2	△44.8
合計 (その他含む)	208,357	202,919	100.0	△2.6	178,605	166,392	100.0	△6.8

[注] ①貴金属・宝石、芸術品、骨董品等の取引は含まない。

②アジア大洋州はASEAN+6 (日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド) に香港および台湾を加えた合計値。

[出所] スイス連邦関税局

増と好調を維持した。アジア向けは、中国向け (4.4%) が1.6%増加したが、香港向け (2.8%) は時計の需要減が響き17.7%減と大きく落ち込んだ。

輸入は通貨高による価格の押し下げにより、大半の品目で前年を下回った。燃料・エネルギーは原油価格下落を背景に3割近く減少。最大の輸出品目である化学品 (構成比23.3%) が9.7%減、2位の機械および電気・電子機器 (17.1%) が6.1%減、3位の精密機械・時計・装身具 (12.6%) は4.2%増となった。スイス自動車輸入協会によると、輸入車の販売価格低下が消費を刺激、2015年の新車 (乗用車) 登録台数は前年比7.2%増の32万3,783台で、2014年の1.9%減から回復した。

輸入を地域別にみると、増加したのは唯一北米 (構成比7.3%) で5.7%。最大の輸入相手EU28 (72.4%) からは7.7%減少した。アジア大洋州 (14.7%) は、中国やASEANからの輸入は増加したが、香港は宝飾品輸入の減少で23.0%減と大幅に落ち込み、地域全体で0.5%減となった。

■対内直接投資は米国、中国の事例が目立つ

スイス国立銀行によれば、2014年の対内直接投資 (国際収支ベース、ネット、フロー) の合計は60億7,900万CHF、対外直接投資は30億4,800万CHFの引き揚げ超過だった。

地元経済紙ハンデルスツァイトウングのM&A特集 (2016年1月14日付け) によれば、2015年はスイス企業によるM&Aの大型事例は少なく、件数では前年とほぼ同数であったものの金額は大幅に減少した。2015年1月のスイス国立銀行による対ユーロ上限策撤廃以降スイス・フラン高が進み、スイス企業は通貨面で有利な海外で投資を行うよりも、経営再編が急務となった。一方、外国企業にとっては、スイスへの投資は高い買い物となり、特にユーロ圏からは敬遠される結果となった。

対内直接投資では、スイス・フラン高の影響が少なく、常に最新技術取得に積極的に景気回復基調の米国、また海外での企業買収に力を入れる

中国からの事例が目立った。分野別では、市場拡大や事業多角化を目的に、医薬品・医療機器や高度な技術を持つIT関連などスイスが得意とする産業での企業買収が多かった。事例では、2014年に合意された米国のイーライリリーによるノバルティスの動物用医薬部門の買収、同じく米国のコムスコープ・ホールディングカンパニーによるTEコネクティビティの買収などが挙げられる。また、中国からは、万達集団など複数投資機関によるインフロント・スポーツメディアの買収、中国船舶工業集団公司によるバルチラとの事業提携のほか、2016年には、海航集団がスイスポートを買収した。欧州の中心にある地理的利点、専門人材の確保や税制面での優位性などが

ら、スイスでの支社設立も引き続き多く、米国の医薬品インサイトが欧州・中東・アフリカ向けのオペレーションセンターを開設、米国の管理職リクルート大手ボイデンもチューリッヒに続く支社をジュネーブに開設した。

対外投資では、医薬品、食品、保険など幅広い分野でスイス企業による買収事例があったが、多くはすでに海外で事業を展開する大手によるものだ。保険のエースによる米国のチャブの買収により、同社は損保業界で保険引受利益が世界最大となった。また、2014年から交渉が続いていたセメント大手ホルシムによるフランスのラファージュの買収が完了し、世界最大のセメント企業誕生として注目された。医薬品ロシユは、がん遺伝子のデータ収集を手掛ける米国ファンデーション・メディシンを買収した。

■ 対日貿易は輸出増、輸入減で黒字幅拡大

2015年の対日貿易は、輸出が前年比2.9%増の63億7,100万CHF、輸入が5.1%減の30億8,400万CHF。32億8,700万CHFの黒字となり、前年より3億4,700万CHF増加した。

対日輸出全体の40%を占める医薬品は1.7%増と前年の4.9%減からプラスに転じた。2位の腕時計（構成比19.3%）は前年の16.1%増から一転、2.9%減に。医療機器も前年に続き15.4%増、一般機械は前年の9.8%減からプラスに転じ8.2%増加した。対照的に、たばこは12.3%、電気・電子機器は12.1%それぞれ減少した。

表5 スイスの国・地域別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万CHF)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2013年	2014年	2013年	2014年
	金額	金額	金額	金額
EU28	6,573	16,018	11,728	6,280
ルクセンブルク	11,423	5,839	△9,655	2,383
ドイツ	△705	△1,460	565	2,211
フランス	△1,117	△1,494	2,589	△1,284
オランダ	6,915	4,545	2,395	10,084
英国	5,792	16,377	3,246	△8,980
ロシア	n.a.	n.a.	143	750
米国	8,411	5,629	465	△6,444
中南米(オフショア地域含む)	△3,456	2,206	3,455	△3,062
ブラジル	n.a.	n.a.	1,177	1,653
アジア(中東含む)・大洋州・アフリカ	1,422	△361	14,569	7,243
日本	△93	△41	19	△249
中国(香港含まず)	n.a.	n.a.	1,841	3,263
アラブ首長国連邦	n.a.	n.a.	5,373	1,074
合計(その他含む)	599	6,079	35,739	△3,048

〔注〕2015年の国・地域別内訳は2016年12月に発表予定。

〔出所〕スイス国立銀行

表4 スイスのFTA発効・署名・交渉状況

(単位：%)

FTA	発効日	貿易に占める構成比(2015年)			
		往復	輸出	輸入	
発効済み	EU28	62.1	53.7	72.4	
	中国	5.8	4.4	7.4	
	日本	2.6	3.1	1.9	
	香港	1.9	2.8	1.0	
	湾岸協力会議(GCC) 諸国	2.4	3.8	0.7	
	シンガポール	1.4	1.7	1.0	
	カナダ	1.0	1.6	0.3	
	トルコ	0.8	0.9	0.8	
	韓国	0.9	1.3	0.4	
	メキシコ	0.7	0.7	0.7	
	EFTA	0.3	0.4	0.2	
	合計	79.9	74.5	86.7	
署名済み	フィリピン	2016年4月28日署名	0.1	0.2	0.1
交渉中	ロシア・ベラルーシ・カザフスタン関税同盟	-	0.8	1.2	0.3
	インド	-	0.8	0.9	0.8
	タイ	-	0.5	0.5	0.6
	マレーシア	-	0.3	0.4	0.3
	ベトナム	-	0.4	0.2	0.6
	インドネシア	-	0.2	0.3	0.2
	アルジェリア	-	0.1	0.2	0.0
	FTAカバー率(署名済み/交渉中含む)		83.2	78.3	89.5

〔注〕①EFTA：ノルウェー、アイスランドのみ計上(リヒテンシュタイン含まず)。

②以下20カ国・地域ともFTA発効済み。イスラエル、フェロー諸島、パレスチナ自治区、モロッコ、マケドニア、ヨルダン、チリ、チュニジア、レバノン、南部アフリカ関税同盟(SACU：ボツワナ、レソト、ナミビア、南アフリカ共和国、スワジランド)、エジプト、セルビア、アルバニア、コロンビア、ペルー、ウクライナ、モンテネグロ、中米2カ国(パナマ、コスタリカ)、ボスニア・ヘルツェゴビナ(協定締結順)。

③構成比は、輸出はスイス原産品(再輸出品除く)、輸入は輸入総額を使用。〔出所〕スイス連邦経済省経済事務局「FTA一覧」、スイス連邦関税局貿易統計

対日輸入では宝飾品が5.1%増加した。乗用車は金額では4.4%減だが台数は2.2%増加した。減少が続いていた医薬品は1.3%増、一般機械は9.6%減であった。

日本企業による対スイス直接投資の事例としては、

表6 スイスの業種別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万CHF)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2013年	2014年	2013年	2014年
	金額	金額	金額	金額
製造業	7,493	3,852	10,639	25,866
電子・光学・時計等	3,285	4,453	4,883	5,934
金属・機械	432	377	1,180	3,131
化学・プラスチック	3,702	806	3,289	15,106
繊維・アパレル	n.a.	n.a.	1,115	△2,767
サービス	△6,894	2,227	25,099	△28,914
商業	△1,240	△7,683	4,209	△25,451
運輸・情報	△5	722	780	△817
保険	439	907	4,691	6,643
銀行	△3,150	4,556	13,320	△7,039
金融持ち株会社	△3,204	4,862	1,938	3,305
合計(その他含む)	599	6,079	35,739	△3,048

〔注〕2015年の業種別内訳は2016年12月に発表予定。

〔出所〕スイス国立銀行

表7 スイスの主な対内直接投資事例（2015年～2016年2月）

<M&A>

被買収スイス企業		買収企業		時期	投資額 (ランクバリュー)	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
医薬品	ノバルティス	グラクソスミスクライン (GSK)	英国	2015年 3月	71億600万 ドル	GSKとの間の事業交換移管の一環で、インフルエンザワクチンを除くワクチン事業をGSKに移管。
動物医薬品	ノバルティスアニマルヘルス	イーライリリー	米国	2015年 1月	54億ドル	動物医薬品部門エランコを通してノバルティスの動物ヘルス部門を買収。
電気機器／通信	TEコネクティビティ	コムスコープ・ホールディングカンパニー	米国	2015年 8月	30億590万 ドル	TEコネクティビティのテレコム事業・エンタープライズ事業・ワイヤレス事業の買収。
運輸／ロジスティクス	スイスポート	海航集団 (HNAグループ)	中国	2016年 2月	28億1,966万 ドル	スイスポートを所有するPIAパートナーズによる海航集団への売却。海航集団は中国4位の航空会社
メディア	インフロント・スポーツアンドメディア	万達集団ほか、投資機関	中国	2015年 2月	11億8,861万 ドル	複数のスポーツ放送権を所有するインフロント株100%を取得。万達集団が68.2%を所有。
船舶用エンジン	バルトラ	中国船舶工業集团公司 (CSSC)	中国	2015年 1月	非公開	2ストロームエンジン事業についてCSSCと合併。同事業はスイスのウィンタートゥールガス&ディーゼル社が本社。

[注] 投資額についてはランクバリュー（トムソン・ロイター）を使用（未完了の案件を除く）。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表8 スイスの主な対外直接投資事例（2015年～2016年1月）

<M&A>

買収企業 企業名	被買収企業（事業）			時期	投資額 (ランクバリュー)	概要
	業種	企業名	国籍			
ホルシム	建設資材 (セメント)	ラファージュ	フランス	2015年 7月	307億1,800 万ドル	対等合併で合意。2015年7月に新会社「ラファージュ・ホルシム」が誕生。売上高世界最大のセメント企業に。
エース	保険	チャブ	米国	2016年 1月	295億ドル	合併により、企業保険と個人保険分野における損保業界のグローバルリーダーに。
ノバルティス	医薬品	グラクソスミスクライン (GSK)	英国	2015年 3月	160億ドル	GSKのがん領域事業の移管、インフルエンザワクチンを除くワクチン事業のGSKへの移管、コンシューマーヘルスケア合併会社設立。
ロシュ	医薬品	ファンデーション・メディスン (FMI)	米国	2015年 4月	7億8,000万 ドル	買収により、遺伝子情報を活用し新薬や新たな検査法の開発を進める。

[注] 投資額についてはランクバリュー（トムソン・ロイター）を使用（未完了の事例を除く）。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表9 スイスの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万CHF、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2014年		2015年			2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
医薬品	2,509	2,552	40.1	1.7	アクセサリー・宝飾品	545	573	18.6	5.1
腕時計	1,265	1,228	19.3	△2.9	乗用車	591	565	18.3	△4.4
アクセサリー・宝飾品	351	474	7.4	35.0	医薬品	458	464	15.0	1.3
医療機器	410	473	7.4	15.4	一般機械	293	265	8.6	△9.6
一般機械	328	355	5.6	8.2	電気・電子機器	193	176	5.7	△8.8
たばこ	204	179	2.8	△12.3	化学原材料	186	153	5.0	△17.7
化学原材料	132	122	1.9	△7.6	光学機器	74	81	2.6	9.5
電気・電子機器	124	109	1.7	△12.1	建設機械	78	61	2.0	△21.8
飲料	84	105	1.7	25.0	自動車部品	59	56	1.8	△5.1
検査・計測機器	108	91	1.4	△15.7	医療機器	65	55	1.8	△15.4
合計(その他含む)	6,191	6,371	100.0	2.9	合計(その他含む)	3,251	3,084	100.0	△5.1

[注] 貴金属・宝石、芸術品、骨董品等の取引は含まない。

[出所] スイス連邦関税局データ（2016年5月末）から作成

2015年1月に住友ゴム工業が医療用ゴム部品メーカーのロンストロフホールディングの全株式を取得。プリント基板の外観検査装置メーカーのインスペックは、3月に精密プリント基板製造装置メーカーのファーストEIEの株式51%を取得し、自社製品とのシナジー効果を狙う。また、6月には三菱UFJ信託銀行が金融大手UBSの資産

管理事業を買収することで合意した。スイスに新たに支社を開設した事例としては、医療用眼科薬メーカーの参天製薬の欧州・中東・アフリカ向けオペレーションセンター、コンタクトレンズ製造のメニコンのR&Dイノベーションセンターなどが挙げられる。

スイス企業の日本への直接投資は、2015年8月にネット銀行分野でFXや貴金属証拠金取引やバイナリーオプションを専門とするデューカス・コピーバンクがアルパリジャパンを買収した。医薬

品ロシュは、Meiji Seika ファルマとフェドラ（カナダ）が行う抗生物質に関する共同開発に投資することを発表（開発段階に応じ7億5000万ドルまで）。6月には日本国内の電力システム改革に向けて、ABBと日立製作所が合併会社を設立し、高圧直流送電事業を行うことになった。